

ライフステージ等	具体的指標	データソース	基準値	現状値	参考（全国）	R4目標値	県目標値の考え方
乳幼児・学齢期	妊婦歯科健診受診者の割合の増加	保健・疾病対策課調査	54.9% (R3)	54.9% (R3)	—	—	妊婦健診受診率を参考に設定する。
	妊婦歯科健診受診者における異常なしの割合の増加	保健・疾病対策課調査	〇〇%	〇〇%	—	—	—
	3歳児におけるう蝕のない者の割合の増加	厚生労働省 「地域保健・健康増進事業報告」	67.7% (H22)	83.0% (R1)	85.6% (H29)	90%	国と同一の目標値とする。
	12歳児における1人平均う蝕数の減少	文部科学省 「学校保健統計調査」	1.8本 (H23)	0.6本 (R2)	0.70本 (R1)	0.4本	国の目標値を参考に設定する。
	フッ化物洗口を実施している施設等の割合の増加	健康づくり推進課 「フッ化物洗口実施状況調査」	49.9% (H23)	77.6% (R3)	17.4% (H28)	90%	ここ数年で、う蝕減少傾向が著しい他県のフッ化物洗口実施状況を参考に設定する。
成人期	20～50歳代において年に1回以上定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加	健康づくり推進課 「県民歯科疾患実態調査」	21.8% (H23)	24.1% (H28)	52.9% (H28)	33%	直近値である平成21年の全国平均を目標値とする。
	20～50歳代において8020運動を知っている者の割合の増加	健康づくり推進課 「健康づくりに関する調査」	53.1% (H24)	52.3% (R3)	—	80%	健康日本21計画における「COPD」や「ロコモティブシンドローム」等の認知度の目標値を参考に設定する。
高齢期	60歳代で24本以上自分の歯を有する者の割合の増加	健康づくり推進課 「県民歯科疾患実態調査」	38.3% (H23)	37.84% (H28)	74.4% (H28)	70%	国と同一の目標値とする。
	80歳以上で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加		35.9% (H23)	17.07% (H28)	51.2% (H28)	50%	国と同一の目標値とする。
	60歳代における咀嚼良好者の割合の増加		65.4% (H23)	58.8% (H28)	72.6% (H28)	80%	国と同一の目標値とする。
障害者・要介護者等	障害児（者）入所施設における定期的な歯科検診実施率の増加	健康づくり推進課 「障害者・要介護者入所施設における歯科口腔保健状況等に関する調査」	42.6% (H25)	57.8% (H29)	62.9% (H28)	77%	当該調査において、検診機会があると回答した施設全てが、定期的に実施すると仮定して、目標値を設定する。
	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における定期的な歯科検診実施率の増加		19.6% (H25)	19.5% (H29)	19.0% (H28)	50%	国と同一の目標値とする。

<秋田県歯と口腔の健康づくりに関する基本計画改定に係る今後の予定>

- 令和5年 3月（本日） 歯科保健分科会にておおまかな方向性の確認
- 令和5年 8月 健康づくり推進課にて新計画の骨子案を作成
- 令和5年 9月 分科会委員の皆様に新計画の骨子案を共有
- 令和5年10月 健康づくり推進課にて新計画の素案を作成
- 令和5年11月 分科会委員の皆様に新計画の素案を共有
- 令和5年12月 パブリックコメント
- 令和6年 2月 次期計画案を県議会に説明
- 令和6年 3月 次期計画策定